

組 合 の 概 要

(令和2年度)

令和3年1月現在



亘理名取共立衛生処理組合

事務局所在地 宮城県岩沼市下野郷字新藤曾根1番地の1

TEL 0223-22-1717 (代表)
0223-23-1142 (し尿処理の問合せ)
0223-23-1178 (ごみ処理の問合せ)

FAX 0223-22-2793

E-mail nwkk02@themis.ocn.ne.jp

URL <https://www.watanakyouei.jp>

目 次

1	組合の沿革	1
2	地域の概要(地理・地形的特性)	2
3	人口及び面積	3
4	行政機構	3
	(1) 執行機関	
	(2) 議決機関	
	(3) 委員会組織	
	(4) 組織図	
5	財 政	4
	令和2年度一般会計予算 歳入・歳出	
6	施設の概要	5
	【ごみ処理施設】	
	(1) 岩沼東部環境センター	
	(2) 亘理清掃センター	
	(3) 岩沼清掃センター(旧:ごみ焼却施設、現:ストックヤード)	
	(4) 岩沼一般廃棄物最終処分場	
	【し尿処理施設】	
	(5) 浄化センター	
7	ごみ処理事業	6
8	ごみ処理の実績(令和元年度)	7
	(1) 市町別排出量及び一人当たり一日の排出量	
	(2) 種類ごとの市町別搬入状況	
	(3) 収集運搬等搬入量	
	(4) 市町別ごみ搬入量推移(平成25年度～令和元年度)	
	(5) 収入状況	
	(6) 施設別焼却量及び資源化量	
	(7) 施設別埋立量	
	(8) ダイオキシン類測定値	
9	し尿処理事業	11
10	し尿処理の実績(令和元年度)	12
	(1) 市町別し尿処理人口(外国人を含む。)	
	(2) 生し尿及び浄化槽汚泥等搬入量	
	(3) し尿処理手数料収入状況	
	(4) 市町別搬入量推移(平成25年度～令和元年度)	
	(5) 水質検査結果	
	(6) ダイオキシン類測定値	

1 組合の沿革

- 昭和 38 年 2 月 亘理名取共立衛生処理組合設立 構成市町 名取市、岩沼町（当時）、亘理町、山元町（昭和 46 年 11 月岩沼市制施行）
- 昭和 39 年 9 月 岩沼町（当時）早股地区にし尿処理場の建設着工
- 昭和 40 年 3 月 し尿処理場竣工 4 月より名取市、岩沼町（当時）、亘理町及び山元町のし尿処理開始
- 昭和 45 年 10 月 岩沼町（当時）寺島地区にし尿処理場第 1 施設建設着工
- 昭和 47 年 3 月 し尿処理場第 1 施設竣工 4 月より稼動
- 昭和 52 年 3 月 し尿処理場第 1 施設の隣接地に第 2 施設の建設着工
- 昭和 53 年 2 月 岩沼市早股地区のし尿処理場の解体完了
- 昭和 53 年 3 月 し尿処理場第 2 施設竣工 4 月より稼動
- 平成 3 年 11 月 現在地に浄化センターの建設着工
- 平成 5 年 12 月 浄化センター一部供用開始
- 平成 6 年 12 月 し尿処理場第 1 施設及び第 2 施設の解体完了
- 平成 6 年 12 月 管理棟の建設が完成し、浄化センター竣工
- 平成 14 年 4 月 ごみの広域処理（名取市、岩沼市、亘理町及び山元町のごみ処理）を開始
- 平成 17 年 8 月 「循環型社会形成推進地域計画」策定
- 平成 17 年 10 月 岩沼清掃センター焼却施設の解体着工
- 平成 18 年 6 月 岩沼清掃センター焼却施設の解体完了
- 平成 18 年 12 月 岩沼清掃センター焼却施設解体跡地にストックヤード（紙類・布類の分別及び保管施設）竣工
- 平成 19 年 8 月 「一般廃棄物処理施設（新ごみ焼却施設・新最終処分場施設）整備基本計画」策定
- 平成 19 年 12 月 「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」策定
- 平成 20 年 8 月 「亘理名取共立衛生処理組合地球温暖化対策実行計画」（温室効果ガス総排出量抑制に係る実行計画）策定
- 平成 20 年 9 月 岩沼一般廃棄物最終処分場 2 期工事着工
- 平成 21 年 1 月 「循環型社会形成推進地域計画」策定
- 平成 21 年 2 月 岩沼清掃センター粗大ごみ処理施設解体撤去工事着工
- 平成 21 年 3 月 岩沼一般廃棄物最終処分場 2 期工事竣工
- 平成 21 年 3 月 岩沼清掃センター粗大ごみ処理施設解体撤去工事完了
- 平成 23 年 3 月 東日本大震災（3 月 11 日）の大津波により浄化センター及び亘理清掃センターが壊滅的な被害を受け使用不能となる
- 平成 23 年 9 月 亘理清掃センター工場棟災害復旧修繕として 14 億 7,000 万円で三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社東北支店と契約締結（工期：平成 23 年 9 月から 24 年 8 月まで）
- 平成 23 年 12 月 亘理一般廃棄物最終処分場災害（台風 15 号）復旧修繕（工期：平成 23 年 12 月から平成 24 年 3 月まで）
- 平成 24 年 2 月 白石衛生センター（仙南地域広域行政事務組合所管施設）を借上げし、修繕を行いし尿処理業務開始
処理能力：65 キロリットル／日
- 平成 24 年 3 月 新焼却施設建設用地の買収及び登記完了

- ・ 平成 24 年 4 月 浄化センター復旧修繕として 15 億 2,250 万円でアタカ大機株式会社東北支店と契約締結
(工期：平成 24 年 4 月から平成 25 年 3 月まで)
- ・ 平成 24 年 9 月 亘理清掃センター復旧修繕が完了し、本格稼働開始
- ・ 平成 25 年 3 月 新一般廃棄物最終処分場建設候補地選定業務委託として 9,975 千円で株式会社エイト日本技術開発東北支社と契約締結
- ・ 平成 25 年 3 月 新ごみ処理施設建設工事 104 億 6,325 万円で川重・熊谷・佐藤建設工事共同企業体と契約締結
(工期：平成 25 年 4 月から平成 28 年 3 月まで)
- ・ 平成 25 年 3 月 浄化センター復旧修繕完了し、本格稼働開始
- ・ 平成 25 年 4 月 新ごみ処理施設建設工事着工
- ・ 平成 25 年 4 月 白石衛生センターを仙南地域広域行政事務組合に返還
- ・ 平成 25 年 10 月 新ごみ処理施設建設工事安全祈願祭
- ・ 平成 26 年 3 月 「一般廃棄物（ごみ・生活排水）基本計画」策定
- ・ 平成 27 年 12 月 新ごみ処理施設建設工事火入れ式
- ・ 平成 28 年 2 月 組合事務局移転
- ・ 平成 28 年 3 月 名取クリーンセンター施設稼働停止
亘理清掃センター焼却炉稼働停止
岩沼清掃センター一般搬入終了
新ごみ処理施設建設工事竣工（総額 110 億 2,485 万円）
- ・ 平成 28 年 4 月 岩沼東部環境センター（ぼぼか）本格稼働
組合事務局住所を規約変更により
「宮城県岩沼市下野郷字新藤曾根 1 番地の 1」に変更
- ・ 平成 28 年 6 月 岩沼東部環境センター（ぼぼか）竣工式
- ・ 平成 28 年 10 月 2 市 7 町の一般廃棄物（ごみ・し尿）を処理する仙南地域広域行政事務組合と災害や施設の故障時に一般廃棄物（ごみ・し尿）の処理を引き受ける相互応援協定を締結
- ・ 平成 29 年 5 月 名取クリーンセンター解体工事 2 億 5,380 万円で戸田・グリーン企画建設特定建設工事共同企業体と契約締結
- ・ 平成 30 年 7 月 名取クリーンセンター解体工事完了
- ・ 平成 30 年 10 月 名取クリーンセンターの敷地を名取市へ返還

2 地域の概要（地理・地形的特性）

本組合は、宮城県南東部に位置し、仙台市と隣接する名取市と岩沼市、亘理町及び福島県を境とする山元町の 2 市 2 町で構成している。

本地域は、仙台平野の南部にあたり、西部に阿武隈山地の山並みが連なり、東は太平洋を臨み、山や海の自然豊かな風光明媚で気候温暖な地域である。

中央部には平坦地が南北に伸びて、J R 東北本線、常磐線、国道 4 号、6 号、仙台東部道路が南北に平行して走り、さらに名取市と岩沼市との境界には国際空港である東北の空の玄関口仙台空港がある。また、平成 19 年 3 月 18 日には、仙台空港アクセス鉄道が開業され、公共交通網の充実と沿線の商業地域や公共施設・住宅街が整備されている地域である。

幹線道路、鉄道沿線には、大小の工場の進出もあり、商工業都市としての発展も期

待されている。

奥羽山脈に端を発する国内最大級河川の阿武隈川と名取川が東西に流れて平野部を潤し、肥沃な土地を活かした農業の盛んな地域を育てている。

気候は阿武隈山地を背にしており、太平洋に面しているため、市街地での積雪はほとんどなく一年を通じて温暖な地域である。

3 人口及び面積

構成市町の人口は、平成9年度で158,565人であったが、平成18年度には166,088人(4.7%増)となっており、平成21年度においては168,569人(1.5%増)と微増ではあるが増加傾向にあり、今後も増加が見込まれた。

しかしながら、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の津波により構成市町は甚大な被害を受け、また、死亡者、行方不明者の数は2,000名を超え人口は大きく減少したが、東日本大震災後9年を経過し、復旧復興が進むにつれ人口も増加している。

構成市町の人口及び面積

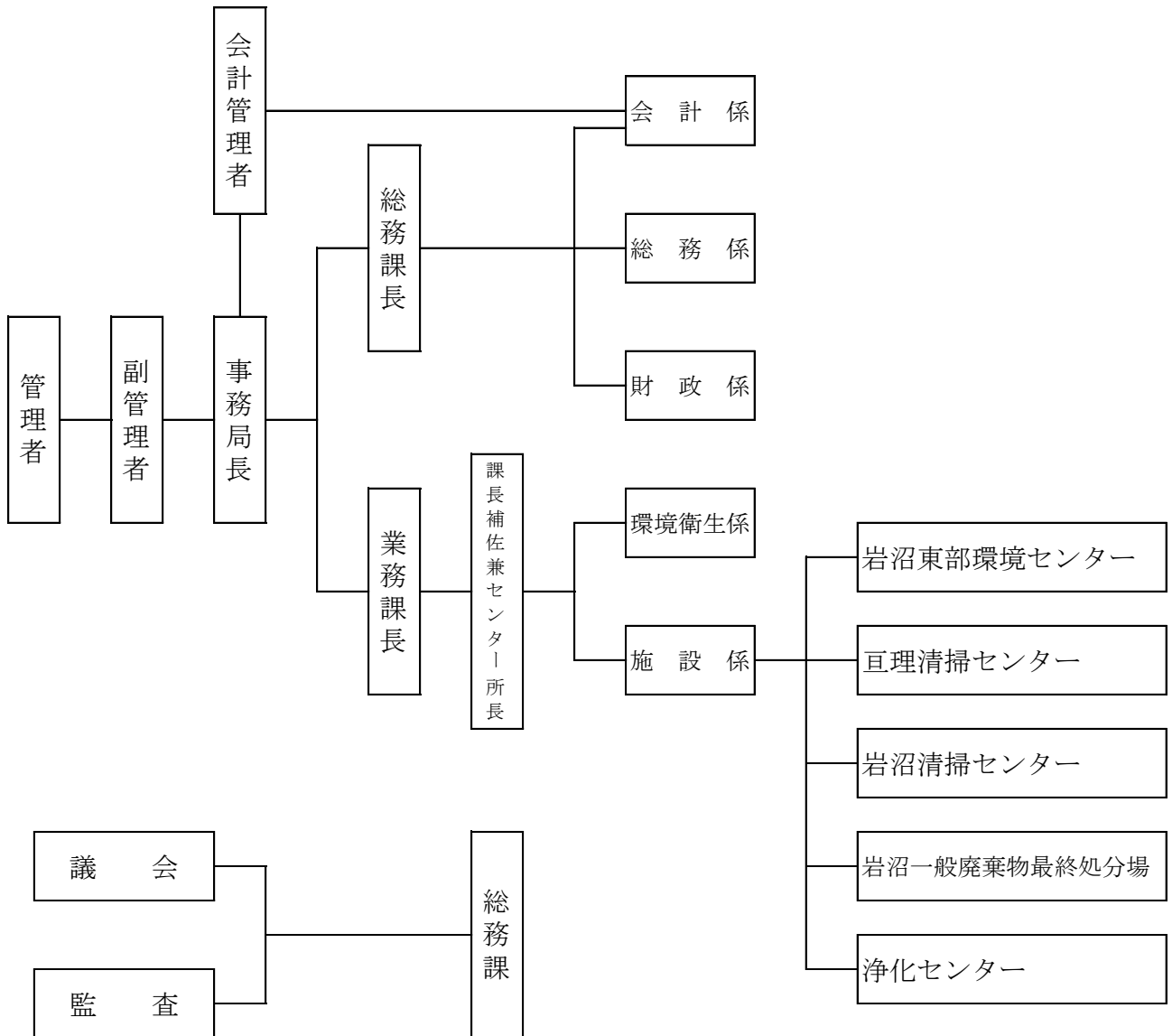
市町名 区分	名取市	岩沼市	亶理町	山元町	合計
人口(人)	79,262	43,877	33,498	12,125	168,762
面積(k㎡)	98.17	60.45	73.60	64.58	296.80

※ 令和2年3月31日現在の住民基本台帳による。

4 行政機構(令和3年1月1日現在)

- (1) 執行機関
- 管理者 岩沼市長 菊地 啓夫
 - 副管理者 名取市長 山田 司郎
 - 副管理者 亶理町長 山田 周伸
 - 副管理者 山元町長 齋藤 俊夫
 - 副管理者 岩沼市副市長 鈴木 隆夫
 - 職員数 常勤職員16人
- (2) 議決機関
- 組合議会 議員定数16人
(構成市町議会議員の内よりそれぞれ4人を選挙)
- 議長 高橋 建夫 (山元町議会選出)
 - 副議長 長田 忠広 (岩沼市議会選出)
- (3) 委員会組織
- 監査委員 委員 山田 龍太郎 (名取市議会選出)
 - 委員 森 義洋 (亶理町議会選出)
 - 議会運営委員会 委員長 菊地 忍 (名取市議会選出)
 - 副委員長 菊地 康彦 (山元町議会選出)
 - 委員 佐藤 邦彦 (亶理町議会選出)
 - 委員 酒井 信幸 (岩沼市議会選出)
 - 施設管理運営調査特別委員会 委員 組合議員16人

(4) 組織図



5 財政

令和2年度一般会計予算

(1) 歳入

歳入科目	予算額(千円)	構成比(%)
1 分担金及び負担金	1,938,899	83.3
2 使用料及び手数料	206,888	8.9
3 国庫支出金	3,800	0.2
4 財産収入	160,351	6.9
5 繰入金	14,000	0.6
6 繰越金	2,000	0.1
7 諸収入	75	0.0
歳入合計	2,326,013	100.0

(2) 歳出

歳出科目	予算額(千円)	構成比(%)
1 議会費	3,125	0.1
2 総務費	68,855	3.0
3 衛生費	2,201,338	94.6
4 公債費	50,695	2.2
5 予備費	2,000	0.1
歳出合計	2,326,013	100

6 施設の概要

【ごみ処理施設】 対象者：一般住民・委託業者・許可業者

- (1) 岩沼東部環境センター 岩沼市下野郷字新藤曾根1-1
敷地面積 37,978.39 m²
工期 平成25年4月～平成28年3月
総事業費 11,024,850千円(インフレスライド561,600千円含む)
・熱回収施設 ストーカ式焼却炉
施設規模 157 t / 日 (78.5 t / 24h × 2 炉)
排ガス処理設備 ろ過式集じん器、有害ガス除去設備他
飛灰処理設備 重金属類溶出防止処理
余熱利用設備 ボイラー、蒸気タービン発電機(発電出力 1,990 kW)、
ロードヒーティング設備、場内給湯設備
・リサイクル施設 施設規模 22.9 t / 5 h
- (2) 亘理清掃センター 亘理郡山元町高瀬字杉田2-1
敷地面積 12,531 m²
・リサイクル施設 資源化設備
処理方式 スクリュー圧縮せん断式
処理能力 13 t / 5 h
PETボトル減容機
処理方式 油圧圧縮梱包式
処理能力 300 kg / h
(平成28年3月廃プラスチック処理設備の稼働停止)
※燃えるごみ・廃プラスチック以外の指定されているごみは、一般持込可能。

【ごみ処理施設】 対象者：委託業者

- (3) 岩沼清掃センター 岩沼市南長谷字山小屋74-36
建築面積 483.79 m²
延べ床面積 475.11 m²
工期 平成17年10月～平成18年11月
総事業費 56,910千円
・リサイクル施設 容器包装ストックヤード(紙類、布類の分別保管施設)

(4) 岩沼一般廃棄物最終処分場	岩沼市長岡字栗木平西 1 - 1
敷地面積	41,902 m ²
埋立面積	19,880 m ²
埋立容量	119,865 m ³
処理方式	準好気性埋立構造
・浸出水処理施設	処理方式 回転円板（生物学的脱窒素処理）＋凝集沈殿＋砂ろ過 ＋活性炭吸着 処理能力 45 m ³ /日（最大 90 m ³ /日）
供用開始	昭和 61 年 4 月 1 日
総事業費	878,320 千円

【し尿処理施設】 対象者：委託業者・許可業者

(5) 浄化センター	岩沼市寺島字川向 45-53
敷地面積	19,962.9 m ²
工期	平成 3 年 11 月～平成 6 年 12 月
総事業費	3,230,000 千円
・し尿処理施設	処理方式 高負荷脱窒素処理＋高度処理方式 処理能力 113 kℓ/日 (し尿 78 kℓ/日・浄化槽汚泥 35 kℓ/日) 汚泥乾燥焼却設備、脱臭設備等

※東日本大震災により被災し復旧修繕を行い、平成 25 年 3 月より再稼働

7 ごみ処理事業

昭和 38 年 2 月にし尿を広域処理するために、一部事務組合として設立されて以来、名取市、岩沼市、亶理町及び山元町のし尿処理業務を行ってきたが、ダイオキシン類の排出抑制並びに効率的なごみ処理を行うこととし、構成市町が広域化に合意して、平成 14 年 4 月から新たにごみ処理を加えた広域行政の業務を開始した。

ごみ処理業務を実施するにあたり、本組合に移管された施設のうちで老朽化の著しい岩沼清掃センター焼却施設の稼働を停止して、焼却処理業務は名取クリーンセンターと亶理清掃センターの焼却施設において行うこととして、ダイオキシン類排出抑制のため、両施設において排ガス高度処理工事を行い 2 施設に集約した。

岩沼清掃センターの焼却施設は平成 14 年 11 月に稼働を停止して平成 17 年度、18 年度の 2 カ年継続の国庫補助事業として焼却施設の解体を行い、跡地に紙類・布類の選別と保管を行う鋼板折板葺き平屋建て延床面積 475.11 m²のストックヤードを建設した。

平成 21 年 3 月には、岩沼一般廃棄物最終処分場 2 期工事が終了している。

平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災の津波により、亶理清掃センターが甚大な被害を受けたため使用不能となったが、平成 24 年 9 月に復旧修繕が完了し、同年 10 月から本格稼働を開始した。

平成 25 年 3 月に新ごみ処理施設建設工事の契約を行い、平成 28 年 3 月 31 日竣工し、同年 4 月 1 日より本格稼働し、同年 6 月 5 日に岩沼東部環境センター（ぽぽか）の竣工式を開催した。

平成 28 年 10 月 14 日には 2 市 7 町の一般廃棄物（ごみ・し尿）を処理する仙南地域広域行政事務組合と災害や施設の故障時に一般廃棄物（ごみ・し尿）の処理を引き受ける相互応援協定を締結した。

平成 29 年 5 月に名取クリーンセンター解体工事の契約を行い、平成 30 年 7 月に解体工事を完了し、同年 10 月には敷地を名取市に返還している。

【業務概要】

本組合で所管するごみ処理業務は、住民がごみ集積所に出した可燃ごみや資源物を収集車両に積込み、施設に運搬するところから始まり、資源物として出されたものは選別処理を行い有価物として売却し、可燃ごみは焼却処理した後に焼却灰を一般廃棄物最終処分場に埋立処分するまでの範囲である。これら業務を民間業者に委託して事業を円滑に行っている。事業系の一般廃棄物は事業者自らが施設に搬入するか、あるいは一般廃棄物収集運搬業の許可業者が、事業者に代わって施設に搬入する。

8 ごみ処理の実績（令和元年度）

（1）市町別排出量及び一人当たり一日の排出量

区分 市町名	人口 (令和 2 年 3 月末現在)	排出総量 (t)	内 訳 (t)		1 人当たり 1 日 の排出量 (g)	災害ごみ (t)
			家庭系	事業系		
名 取 市	79,262	26,460.10	19,339.82	7,120.28	912.11	80.06
岩 沼 市	43,877	15,572.17	11,220.05	4,352.12	969.69	13.35
亘 理 町	33,498	9,940.42	8,412.20	1,528.22	810.78	16.77
山 元 町	12,125	4,262.19	3,402.84	859.35	960.44	0.00
合 計	168,762	56,234.88	42,374.91	13,859.97	全体 910.44	110.18
前年度合計	168,532	55,185.03	41,850.93	13,334.10	全体 897.11	-
比較増減	230	1,049.85	523.98	525.87	13.33	110.18
前年度比 (%)	0.14	1.90	1.25	3.94	1.49	皆増

（2）種類ごとの市町別搬入状況

【単位：t】

区分 市町名	名取市	岩沼市	亘理町	山元町	合 計
可燃ごみ	21,039.38	12,600.31	7,889.74	3,307.56	44,836.99
粗大ごみ	1,201.25	789.42	569.63	221.80	2,782.10
有害・危険ごみ	72.92	39.38	25.58	12.25	150.13
資源物	4,226.61	2,156.41	1,472.24	720.58	8,575.84
小 計	26,540.16	15,585.52	9,957.19	4,262.19	56,345.06
直接埋立物	40.76	40.75	0.00	0.00	81.51
合 計	26,580.92	15,626.27	9,957.19	4,262.19	56,426.57
前年度合計	25,962.52	15,130.42	9,964.05	4,214.60	55,271.59
比較増減	618.40	495.85	△6.86	47.59	1,154.98
前年度比 (%)	2.38	3.28	△0.07	1.13	2.09

(3) 収集運搬等搬入量

【単位：t】

区分 市町名	代行運搬	委託収集	許可収集	計
名取市	64.36	17,931.34	6,736.15	24,731.85
岩沼市	28.11	10,282.94	4,105.86	14,416.91
亶理町	22.55	7,836.61	1,419.43	9,278.59
山元町	6.94	3,196.93	787.08	3,990.95
合計	121.96	39,247.82	13,048.52	52,418.30

(4) 市町別ごみ搬入量推移

【単位：t】

年度 市町名	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
名取市	26,433	26,214	26,316	25,964	26,047	25,903	26,540
岩沼市	15,348	15,355	15,128	15,202	15,284	15,103	15,586
亶理町	10,284	10,280	10,257	9,852	9,941	9,964	9,957
山元町	4,225	4,325	4,384	4,103	4,126	4,215	4,262
合計	56,290	56,174	56,085	55,121	55,398	55,185	56,345

※仙南地域広域行政事務組合で実施した汚染廃棄物試験焼却に伴う、白石市から発生した一般家庭の可燃ごみ 3.99 t は除く（平成 29 年度）

(5) 収入状況

① ごみ処理手数料（施設別）

【単位：円】

区分	施設名	岩沼東部環境センター	亶理清掃センター	合計
代行運搬		2,460,000	—	2,460,000
許可業者		129,964,500	520,700	130,485,200
直接搬入一般家庭		34,693,350	4,171,450	38,864,800
直接搬入事業所		6,618,500	41,500	6,660,000
合計		173,736,350	4,733,650	178,470,000
前年度合計額		164,801,850	4,690,150	169,492,000
対前年 度比	増減額	8,934,500	43,500	8,978,000
	増減率%	5.42	0.93	5.30

② 資源物売却量及び収入額（施設別）

施設名		岩沼東部 環境センター	岩沼清掃 センター	亘理清掃 センター	合 計
区 分					
スチール缶	重量(t)	136.86	0	66.79	203.65
	金額(円)	2,735,733	0	1,353,062	4,088,795
アルミ缶	重量(t)	215.56	0	77.59	293.15
	金額(円)	20,628,133	0	7,486,575	28,114,708
古新聞等	重量(t)	124.95	1,568.55	795.55	2,489.05
	金額(円)	718,831	10,070,490	5,155,988	15,945,309
鉄屑等	重量(t)	651.72	0	172.58	824.30
	金額(円)	4,489,268	0	1,043,714	5,532,982
ペットボトル	重量(t)	154.06	0	44.57	198.63
	金額(円)	10,676,358	0	3,088,701	13,765,059
小型家電	重量(t)	25.49	0	5.46	30.95
	金額(円)	53,385	0	8,720	62,105
プラスチック類	重量(t)	82.90	3.10	16.77	102.77
	金額(円)	90,430	3,389	18,294	112,113
小 計	重量(t)	1,391.54	1,571.65	1,179.31	4,142.50
	金額(円)	39,392,138	10,073,879	18,155,054	67,621,071
容器包装 リサイクル 協会拠出金	有償入札 拠出金	6,645,161	0	2,310,581	8,955,742
	※合理化 拠出金	0	0	0	0
合計金額		46,037,299	10,073,879	20,465,635	76,576,813
前年度合計金額		42,323,290	10,807,283	19,348,613	72,479,186
対前年度比	増減額	3,714,009	△733,404	1,117,022	4,097,627
	増減率%	8.78	△6.79	5.77	5.65

※容器包装リサイクル協会再商品化合理化拠出金は前年度の実績に基づくもの

③ 売電量及び収入額（岩沼東部環境センター）

バイオマス分		非バイオマス分		合 計	
税込 (8%) 18.36 円/kWh		税込 (8%) 8.15 円/kWh			
税込 (10%) 18.7 円/kWh		税込 (10%) 8.3 円/kWh			
kWh	円	kWh	円	kWh	円
4,091,319	75,850,348	4,166,428	34,277,377	8,257,747	110,127,725

(6) 施設別焼却量及び資源化量

① 岩沼東部環境センター

【単位：t】

市・町		名取市	岩沼市	亶理町	山元町	合計
焼却量	搬入可燃ごみ	21,039.38	12,600.31	7,889.74	3,307.56	44,836.99
	中間処理後の可燃物	搬入された粗大ごみを解体した後の可燃性ごみ等				3,324.01
	合計					48,161.00

【単位：t】

市・町		名取市	岩沼市	亶理町	山元町	合計
資源化量	粗大ごみからの回収量	332.67	215.14	108.35	13.62	669.78
	資源物からの回収量	2,516.36	1,287.48	307.00	81.31	4,192.15
	有害物からの回収量	47.60	25.97	0.05	0.00	73.62
	小計	2,896.63	1,528.59	415.40	94.93	4,935.55
	焼却灰からの資源化量	802.20	479.94	300.21	126.07	1,708.42
	合計	3,698.83	2,008.53	715.61	221.00	6,643.97

② 岩沼清掃センター

【単位：t】

市・町		名取市	岩沼市	亶理町	山元町	合計
資源化量	資源物からの回収量	1,009.55	562.10	0.00	0.00	1,571.65

③ 亶理清掃センター

【単位：t】

市・町		名取市	岩沼市	亶理町	山元町	合計
資源化量	粗大ごみからの回収量	0.04	0.93	78.46	73.48	152.91
	資源物からの回収量	0.56	0.34	947.33	536.59	1,484.82
	有害物からの回収量	0.01	0.00	15.90	7.49	23.40
	合計	0.61	1.27	1,041.69	617.56	1,661.13

(7) 施設別埋立量

① 岩沼一般廃棄物最終処分場

【単位：t】

市町名		名取市	岩沼市	亶理町	山元町	合計
岩沼東部環境センター焼却灰		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
浄化センター焼却灰		17.98	11.03	17.47	10.07	56.55
その他（側溝土砂）		40.76	40.75	0.00	0.00	81.51
中間処理埋立物		7.03	4.60	3.08	1.02	15.73
合計		65.77	56.38	20.55	11.09	153.79

※中間処理埋立物については、漬物石等の不燃物で処分場に埋立したもの

(8) ダイオキシン類測定値

【単位：ng-TEQ/m³N】

区分	施設名 岩沼東部環境センター	
	測定日	測定結果
1号炉	令和元年7月29日	0.0033
	12月25日	0.00065
2号炉	令和元年7月30日	0.007
	12月26日	0.0058
基準値	1	

9 し尿処理事業

昭和38年2月にし尿処理を広域処理するために、名取市、岩沼町(当時)、亘理町及び山元町の1市3町が構成自治体として広域行政事務組合を設立してし尿処理業務を開始した。汲取り業務は業者に委託して、昭和40年3月に岩沼市早股地区に竣工した処理能力54kℓ/日のし尿処理施設において直営で処理業務を行ってきた。その後、し尿収集量の増加に伴い、昭和45年10月に処理能力75kℓ/日の第1施設を現所在地に建設を始め、昭和47年4月から2カ所において増加するし尿の処理に対処してきた。昭和53年4月から第1施設の隣接地に竣工した処理能力80kℓ/日の第2施設が稼動したことにより、日量155kℓの処理が可能となり、増加する一途の収集量に対応できるようになった。これにより老朽化が著しい早股地区の施設を停止した。

しかし、環境衛生の向上や快適な生活環境のニーズが高まったことにより、昭和50年頃から浄化槽の普及が進んできたことや流域下水道事業、農業集落排水事業の整備が進められ、昭和60年1月流域下水道の供用が開始された。

その後、構成市町の合併処理浄化槽設置に対する補助制度が整備され、水洗化が普及し、それに反比例してし尿収集量は毎年減少することとなった。

水洗化率の向上によるし尿収集量の減少や第1、第2施設の老朽化による修繕等の維持管理費が増加してきたことなどにより、平成3年11月に現在の施設である浄化センターの建設が開始された。平成5年12月に完成し、1日あたり113kℓ(し尿78kℓ/日・浄化槽汚泥35kℓ/日)を処理できる最新処理方式を備えた新施設が稼動して現在に至っている。

平成23年3月に発生した東日本大震災の津波により、浄化センターが甚大な被害を受けたため使用不能となったが、平成25年3月に復旧修繕が完了し、本格稼働を開始した。

【操業状況】

令和元年度においては、し尿等の総収集量は、19,313,470ℓで前年度対比0.28%の増となっている。

し尿については、東日本大震災で沿岸部が被災を受け、汲取り戸数が減少している。

浄化センターの処理能力は、113kℓ/日で、そのうちし尿の受け入れ率は、約70%で、浄化槽汚泥の受け入れ率は約30%と見込んでいたが、合併浄化槽や、下水道の整備が進んだことにより、し尿の受け入れが年々減少し、現在はし尿が約29%、浄化槽汚泥が約71%の構成率となり、当初の計画処理能力から大幅に変更となっている。

10 し尿処理の実績（令和元年度）

（1）市町別し尿処理人口（外国人を含む。）

【令和2年3月末現在】

区 分 \ 市 町	名 取 市	岩 沼 市	亘 理 町	山 元 町	合 計
人 口 (人)	79,262	43,877	33,498	12,125	168,762
世 帯 数 (戸)	31,489	17,976	12,618	4,784	66,867
処理人口 (人)	2,558	1,202	2,847	2,513	9,120

（2）生し尿及び浄化槽汚泥等搬入量

【単位：t】

区 分		平成30年度	令和元年度	比較増減	増減率 (%)
名取市	生し尿	1,551,060	1,447,010	△104,050	△6.71
	浄化槽汚泥	3,748,050	3,903,590	155,540	4.15
	農集排汚泥	1,115,180	1,117,420	2,240	0.20
	小 計	6,414,290	6,468,020	53,730	0.84
岩沼市	生し尿	1,143,670	1,172,610	28,940	2.53
	浄化槽汚泥	2,124,890	2,134,690	9,800	0.46
	農集排汚泥	401,040	400,670	△370	△0.09
	小 計	3,669,600	3,707,970	38,370	1.05
亘理町	生し尿	1,934,070	1,852,450	△81,620	△4.22
	浄化槽汚泥	3,951,890	4,025,890	74,000	1.87
	農集排汚泥	0	0	0	—
	小 計	5,885,960	5,878,340	△7,620	△0.13
山元町	生し尿	1,313,920	1,222,640	△91,280	△6.95
	浄化槽汚泥	1,976,560	2,036,500	59,940	3.03
	農集排汚泥	0	0	0	—
	小 計	3,290,480	3,259,140	△31,340	△0.95
合 計	生し尿	5,942,720	5,694,710	△248,010	△4.17
	浄化槽汚泥	11,801,390	12,100,670	299,280	2.54
	農集排汚泥	1,516,220	1,518,090	1,870	0.12
	小 計	19,260,330	19,313,470	53,140	0.28

（3）し尿処理手数料等収入状況

【単位：円】

区 分	平成30年度	令和元年度	比較増減	増減率 (%)
し尿処理手数料（汲取券）	33,697,300	31,958,900	△1,738,400	△5.16
浄化槽汚泥処分手数料	10,451,030	10,719,800	268,770	2.57
農集排汚泥処分手数料	1,322,615	1,324,165	1,550	0.12
公共施設汲取手数料	250,700	245,600	△5,100	△2.03
合 計	45,721,645	44,248,465	△1,473,180	△3.22

(4) 市町別搬入量推移

【単位：kℓ】

年度 市町別	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
名取市	6,730	6,416	6,464	6,478	6,541	6,414	6,468
岩沼市	3,950	3,869	4,272	3,948	3,794	3,670	3,708
亘理町	7,230	7,008	7,023	6,405	6,044	5,886	5,878
山元町	4,004	4,359	4,526	3,973	3,997	3,290	3,259
合計	21,914	21,652	22,285	20,804	20,376	19,260	19,313

(5) 水質検査結果

項目	単位	基準値	年度平均測定値
水素イオン濃度 (pH)	水素指数	5.8~8.6 以下	6.7
生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/ℓ	160 以下	0.5 未満
化学的酸素要求量 (COD)	mg/ℓ	160 以下	1.3
浮遊物質 (SS)	mg/ℓ	200 以下	0.9
大腸菌群数	個/cm ³	3,000 以下	0

(6) ダイオキシン類測定値

【単位：ng-TEQ/m³N】

測定日	基準値	測定結果
令和元年7月31日	10	0.073

・・・メモ・・・